Sustainability Data Book 2024

編集方針

田中貴金属グループでは、2004年度から2023年度までCSR報告書を毎年発行してまいりました。※
2024年度はサステナビリティデータブックを発行いたします。CSRに関するさまざまな指標を、改善・悪化にかかわらず開示します。
指標については世の中の動向やステークホルダーの要求に応じて適宜見直しを行います。

※2004年～2006年は環境報告書として発行

対象期間

2019年4月1日～2023年12月31日。※

※2019年度～2022年度:4月1日～3月31日。2023年度:1月1日～12月31日。
2023年度より会計年度変更に伴いデータの対象期間を変更します。2022年度、2023年度では2023年1月～3月のデータを重複して集計しています。

対象範囲

TANAKAホールディングス株式会社と連結子会社を含むグループ全体を対象としています。
ただし、メタローテクノロジーズインターナショナル株式会社を除きます。なお、対象範囲が異なる場合は当該箇所に明示しています。
田中貴金属グループについては以下をご覧ください。
<https://www.tanaka.co.jp/about/>

発行時期

2024年09月

発行責任部署

TANAKAホールディングス株式会社 サステナビリティ・広報本部 CSR推進部
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-6
ホームページ <https://www.tanaka.co.jp/sustainability/csr/>

田中貴金属グループ財務状況

メタローテクノロジーズインターナショナル(株)含む

業績要約

	百万円		
	2022年度	2023年度	前年度比
売上高	680,036	611,128	89.9%
当期純利益	35,436	22,683	64.0%
総資産	886,948	895,996	101.0%

売上高

当期純利益

総資産

2021年度より収益認識会計基準等を適用。
2023年度より会計年度を変更。2022年度以前は各年4月～翌年3月。
2023年度は繰越措置として4月～12月。2024年度より各年1月～12月で計上予定。

人事・労務

従業員一人ひとりが輝ける職場環境づくりは、田中貴金属グループの将来にとって欠かせません。すべての従業員が活躍できるように、さまざまな切り口から職場環境の整備に取り組んでいます。

従業員数・管理職人数(日本国内)

平均年齢(日本国内)

年齢別従業員数

中途採用比率(日本国内)

定年後再雇用(日本国内)

離職率

従業員が子育てと仕事を両立できる職場環境を整備するため、法令で定められている以上にさまざまな取り組みを行っています。今後も働き方改革とワークライフバランスの観点から、従業員の子育てと仕事の両立支援に取り組めます。

労働安全衛生

安全で、安心して働ける職場環境づくりは、企業にとって最も重要な課題です。
田中貴金属グループは、お互いに協力できる関係づくりを大切にしながら、従業員の安全と健康の確保に取り組んでいます。

社会貢献活動

田中貴金属グループは、事業活動を通じて関係する地域や国がより健やかで豊かになるよう考えています。
会社としての支援、従業員によるボランティアの両面から、継続性を大切に活動を各地で展開しています。

美しい地球を未来へ継承することは、国際社会共通の課題であり、大きな挑戦でもあります。
田中貴金属グループは、事業活動による環境への負荷を最小化するために、あらゆる可能性を追求しています。

2023年度のCO₂排出量(グローバル)は前年度比8.9%減となりました。
今後もさまざまな機器の効率化や運用改善などの省エネルギー活動を強化します。

工場別のCO₂排出量(2023年度)

工場名	単位:t
田中貴金属工業(株)湘南工場	7,263
田中貴金属工業(株)富岡工場	5,312
田中貴金属工業(株)袖ヶ浦工場	4,131
田中貴金属工業(株)市川工場	3,671
田中貴金属工業(株)平塚工場	3,152
田中貴金属工業(株)筑波事業所	3,119
田中電子(杭州)有限公司(TEC)	2,509
田中貴金属工業(株)伊勢原工場	2,500
田中貴金属工業(株)岩手工場	2,218
田中電子工業(株)佐賀工場(TD佐賀)	1,051
その他	9,757

環境保全

産業廃棄物排出量

産業廃棄物排出量の工場別内訳(2023年度)

産業廃棄物排出量の品目別内訳(2023年度)

水使用量の推移(日本国内)

水使用量の内訳(2023年度)

その他

上記分類には含まれませんが、会社として毎年集計しているCSRパフォーマンスデータを開示します。

第三者保証

田中貴金属グループでは、サステナビリティデータブックに掲載するCSRパフォーマンスデータの信頼性向上を目的として、株式会社サステナビリティ会計事務所に第三者保証を依頼しています。詳細は以下の通りです。

- 1. 目的** 「Sustainability Data Book 2024」に掲載されている2023年1月1日から2023年12月31日までを対象とした「 」マークの付されている環境・社会パフォーマンスの各種指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続きを実施する。
- 2. 保証手続き** 国際保証業務基準ISAE3000に準拠して実施。概要は以下。
 - 算定方針について担当者への質問
 - 算定方針の検討
 - 算定方針に従って各種指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合ならびに再計算の実施
- 3. 結論** 保証手続きの結果、各種指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

SUSA
Sustainability Accounting Co., Ltd.

独立第三者の保証報告書

2024年9月9日

TANAKA ホールディングス株式会社
代表取締役社長執行役員 田中 浩一朗 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所
代表取締役 福高隆史

1. 目的
当社は、TANAKA ホールディングス株式会社（以下、「会社」という）からの依頼に基づき、「Sustainability Data Book 2024」に記載されている2023年1月1日から2023年12月31日までを対象とした「 」マークの付されている環境・社会パフォーマンスの各種指標（以下、「各種指標」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、各種指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続きを実施し、その結論を表明することにある。各種指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2. 保証手続
当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- 算定方針について担当者への質問
- 算定方針の検討
- 算定方針に従って各種指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3. 結論
当社が実施した保証手続の結果、各種指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上